

情報公開文書

課題名：急性期重症患者・家族に対するケアに関する研究

研究期間：医療倫理委員会承認日～2024年3月31日

1. 研究の対象

研究期間において脳梗塞、脳出血や外傷などで脳にダメージを負った70歳以下の方で、治療に反応せず昏睡状態となられた患者さん

2. 研究目的・方法

臓器提供の視点から重症となられた患者さんに対する治療の振り返りを行うと、急性期重症患者さんおよびご家族支援の重要性がクローズアップされました。適切な治療を行っても残念ながら死が避けられない状況になった時に、患者さんの思いに添った治療・ケアを行い、その一つの選択肢として臓器提供があげられます。そのため、患者さんの思いをご家族と共に見つめなおしていく過程が重要だと考えておりますが、現状ではどのようなケアが提供されているのか、適切なケアとはどのようなものなのかをまず検討する必要があると考えました。

そこで、今回臓器提供医療を行っている静岡県内の病院と共同で、急性期重症患者さんの患者さんおよびご家族ケアに関するレジストリシステムを構築したいと考えております。急性期重症患者に対する患者さんおよびご家族へのケアの経験を蓄積し、施設内だけでなく多施設で共有する事により医療者のケア能力の改善だけでなく、各施設の患者・家族ケアのシステム改善につなげていく一助にしたいと考えております。

方法としましては研究期間において当院へ入院された対象となる患者さんのカルテから、必要な情報を収集させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本情報（性別、年齢、病名、既往歴、手術の有無等）、救命救急センター在室中の情報（入室後24時間の意識の状態、人工呼吸器装着の有無とその期間）、救命救急センター在室期間および経過等

4. 外部への試料・情報の提供

患者さんのカルテから集められた情報については、個人が特定される情報は削除された状態で研究代表施設である聖隷浜松病院内にあるデータセンターへ集められます。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：聖隷浜松病院 移植検討委員会委員長 渥美 生弘

研究参加施設：臓器提供施設連携体制構築事業 協議会

| | |
|------|--------------|
| 中山禎司 | 浜松医療センター |
| 水谷敦史 | 浜松医療センター |
| 登坂直規 | 静岡県立総合病院 |
| 松島 暁 | 中東遠医療センター |
| 川崎達也 | 静岡こども病院 |
| 小柴真一 | 静岡済生会総合病院 |
| 三木靖雄 | 藤枝市立総合病院 |
| 麻喜幹博 | 藤枝市立総合病院 |
| 永山正雄 | 国際医療福祉大学熱海病院 |
| 渥美生弘 | 聖隷浜松病院 |

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である聖隷浜松病院が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 脳神経外科 水谷敦史(研究責任者)

浜松市中区富塚町328番地

電話番号 053-453-7111

研究代表者: 聖隷浜松病院 移植検討委員会委員長 渥美 生弘